

わたしのドイツ (国際交流員×中央図書館コラボ展示)

令和2年8月7日(金)～令和2年9月11日(金)まで、国際交流員シュテファニーと中央図書館がコラボして、ドイツに関する本などを紹介する展示が行われました！

(中央図書館HPより)

「ドイツ」を知ろう。

守谷市には2つの国際姉妹都市があります。その一つがドイツ南部、バイエルン州にあるマインブルク市です。ミュンヘンの北約60キロメートルに位置する緑豊かなまち。ビールの原料となるホップ栽培が盛んで品質は世界一と言われ、本市にあるアサヒビール株式会社との縁もあり、マインブルク市とは平成2年から交流を続けています。

さて、ドイツです。一番に連想するのはビール、ソーセージでしょうか？他にも、特徴的な街並み、陶磁器のマイセン、クラシックの重鎮バッハやベートーベン、ブラームス、サッカー、バウムクーヘン、クリスマスマーケットなど。

本では、ミハエル・エンデの「はてしない物語」、「モモ」、フンケの「どろぼうの神様」、プロイラーの「大どろぼうホッツェンプロッツ」、ケストナーの「飛ぶ教室」、白雪姫やあかずきんちゃん、ラプンツェルに代表されるグリム童話、ヘッセ、ゲーテなどが知られています。

今回、国際交流員シュテファニーさんと中央図書館がコラボし、「ドイツ」に関する展示と本などを集めました。シュテファニーさんがドイツの紹介の展示物と「かわいい本のPOP」をたくさん作ってくれました。おうちで読書の機会に「ドイツ」をのぞいてみませんか？



「わたしのドイツ」展示の様子



マインブルク市ってどんな所？

ドイツに関する本が
たくさん！



ドイツの絵本

ドイツ大使館主催絵画コンテスト「わたしのドイツ 2020」



2020年で13回を迎えたドイツ大使館主催の絵画コンテスト「わたしのドイツ」。

毎年、守谷市の小中学生が作品を応募しており、小学生部門では**3年連続で守谷市の小学生が1位**を受賞しています！

2020年のテーマは、「**日独交流160周年にむけて**」でした。

ドイツには、守谷市の姉妹都市であるマインブルク市があり、守谷市のみなさんとも繋がりが深い国です。

毎年夏に開催されるこのコンテストに、みなさんもぜひ応募してみませんか？

作品のアイデアやドイツについての質問などがあれば、国際交流員までお気軽に相談してください！

《2020年のコンテスト概要》

日本の子どもたちに、ドイツに興味を持ってもらうきっかけになれば、という思いから始まったドイツ大使館が主催する絵画コンテストです。

力作ぞろいの応募作品の中から、大使館職員による投票で小学生および中学生部門、それぞれ上位3作品を決定し、授賞式が行われます。

また、応募作品の一部を大使館内に展示し、作品を応募してくれた子どもたちやその家族、コンテストの協力者を招待した公開展覧会「オープン・デー」も行われます。

すべての応募作品は大使館で大切に保存され、日本各地で貸出展示を行ったり、過去には大使館のクリスマスカードやカレンダーなどにも使用されました。

【対象者】 日本に住んでいる小学生、中学生(グループ作品の応募も可)

【サイズ】 四つ切サイズの画用紙(38×54cm)
色鉛筆、クレヨン、絵の具など、表現方法は自由。

【応募締切】 2020年9月11日(金)

【応募先】 〒106-0047 東京都港区南麻布 4-5-10
ドイツ大使館「わたしのドイツ」係

「わたしのドイツ 2019」小学生部門 第1位受賞
稲森 萌心さん(守谷市立黒内小学校)
「ホーネッカーとブレジネフ(ベルリンのかべの落書き)」



(Copyright: German Embassy Tokyo)